

定期報告（ウルグアイ内政・外交・経済：2025年9月）

2025年9月の内政・外交・経済の主な動きについて以下のとおり報告する。

【ポイント】

<内政>

- 9月に実施された世論調査の結果、オルシ大統領の支持率は43%だった。
- 28日、フェレロ国家検事総長代行が自宅で襲撃を受けた。

<外交>

- 9月中旬、スカシ外務次官はインドネシア、マレーシア、ニュージーランドを訪問した。
- 23日、オルシ大統領は米国を訪問し、国連総会一般討論演説を行った。

<経済>

- 16日、EFTAメルコスールFTAが締結した。
- 9月までに発表された主な経済指標及び貿易統計。

【本文】

1 内政

（1）オルシ大統領の支持率

当地主要世論調査会社は、9月に実施した世論調査結果で、オルシ大統領の支持率が43%だったと発表した。同時期の前大統領支持率と比べ低いものの、過去の大統領支持率の中では中間値であった。一方、国民の関心事項の第1位は、引き続き他を大きく引き離して治安、続いて経済・雇用、教育、保健、汚職等であった。

EQUIPOS 社（調査期間：8月12日～9月9日）

ア 支持する	43%（前回6月：44%）
イ 支持しない	25%（前回6月：21%）
ウ どちらとも言えない	28%（前回6月：30%）
エ 分からない・無回答	4%（前回6月：5%）

CIFRA 社（調査期間：9月18日～28日）

ア 支持する	43%（前回7月：42%）
イ 支持しない	33%（前回7月：31%）
ウ どちらとも言えない	24%（前回7月：27%）

（2）フェレロ国家検事総長代行の自宅襲撃事件

28日未明、フェレロ国家検事総長代行の警護付き自宅に不審者が侵入し、住居に手榴弾が投げ込まれ発砲される事件が発生した。幸い負傷者はいなかったものの、検察機関トップを狙った襲撃事件は政界・社会に震動を与えた。24時間以内に実

行犯2名が逮捕されたが、警察は首謀者を特定すべく調査を継続中。同検事総長代行は、以前、麻薬関連事件を担当しており、2千キロ強の麻薬が押収された際に脅迫動画を受け取った経緯があり、その報復として今回の脅迫行為がなされたと推測されている。同日、オルシ大統領は与野党の代表を緊急に招集し、組織犯罪の闇金ルート追跡の便宜を図る資金洗浄関連法の迅速な改正、刑務所制度改革（当館注：過剰収容等により適切な管理運用が困難化し、犯罪組織が結託する場と化していると指摘される。）及び検察庁強化の必要性を訴えた。

2 外交

（1）スカシ外務次官のインドネシア、マレーシア、NZ 訪問

先月のアジア大洋州への外遊に続き、9月中旬、スカシ外務次官はインドネシア、マレーシア、ニュージーランドを歴訪した。インドネシアでは政策協議を行い、ウルグアイ産乳製品及び牛肉解禁等に関する協議を行った。一方、マレーシアでは政府関係者との面談の他、ハラル製品国際見本市に出展中のウルグアイ食肉関連企業及び団体のブースを視察した。他方、ニュージーランドでは、イノベーション分野を中心とする交流等について当局と意見交換した。ウルグアイ外務省は、国際関係の多角化及び新規輸出市場の開拓を目指しており、また、アジア大洋州地域との戦略的協力関係の強化に取り組んでいる。

（2）オルシ大統領の国連総会出席

オルシ大統領は、国連総会に出席し、一般討論演説を行った。同大統領は、紛争の平和的解決、国際法尊重、多国間主義への強い支持を表明しつつ、世界における紛争増加及びイスラエル・パレスチナ問題への懸念を表した。一方、ウルグアイはラテンアメリカ最大のPKO派遣国かつ一人当たり派遣数では世界第2位の貢献国であり、ウルグアイ部隊が紛争下の民間人保護を専門としている点を強調した。ウルグアイには法の支配の尊重、強固な民主主義、人権と社会的公平の尊重があり、国際場裏において言動一致の実践を行ってきた歴史を引き、ウルグアイが平和構築と紛争予防のための対話の推進者となる準備があると強調した。一方、ウルグアイ代表団は、国連総会の枠組みで、それぞれ米国、サウジアラビア、UAE、カタール、オマーン、パレスチナ国連代表、フィンランドと二国間会談を行った他、CELEAC外相会合が行われ、同加盟国外相はEU、中国、インド、上述湾岸諸国と個別会合を実施した。

3 経済

（1）EFTAメルコスールFTA締結

16日、ブラジルにおいてEFTA（スイス、ノルウェー、アイスランド、リヒテンシュタイン）とメルコスールとの間で、FTA署名式が行われた。ルベッキン外相は、メルコスールにとって「初のブロック間協定」の締結になると評価し、ウルグアイ単独ではなくメルコスールを通じた協定交渉の重要性を強調した。現在、ウルグアイ

イの総輸出に占める対 EFTA 輸出は 1 %弱であるが、今後、牛肉を始めとする柑橘類、果物、小麦、米等の農産品輸出の拡大が期待される。また、同外相は、ウルグアイ議会で同 FTA 批准法案が優先的に審議され早期に発効する必要性についての合意が与野党間に存在する旨述べた。

(2) 主な経済指標及び貿易統計

主な経済指標

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
消費者物価指数 (%)	5.36	5.05	4.59	4.53	4.20	4.25
失業率 (%)	8.0	7.8	7.3	6.9	7.0	—
平均賃金指数 (%)	5.95	6.08	6.05	5.50	5.56	—
対ドル為替 (ペソ) (平均)	42.304	41.682	40.854	40.246	40.043	39.970
新車売上台数 (台)	5,312	5,452	5,146	6,079	5,871	7,005

出所：国家統計院 (INE)、ウルグアイ自動車販売協会 (ACAU)

※9 月の失業率及び平均賃金指数は未発表。

消費者物価指数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
全体	5.36	5.05	4.59	4.53	4.20	4.25
食品・ノンアルコール飲料	5.57	4.74	4.18	5.1	4.61	4.65
アルコール飲料・タバコ	4.45	4.28	3.83	3.49	4.15	4.04
衣服・靴	-0.99	-1.16	-0.99	-0.81	-1.09	-1.23
住宅	4.18	4.27	4.22	3.49	3.59	4.17
家具・家庭用品	4.03	4.05	3.49	2.64	1.46	2.28
保健	6.47	6.6	6.43	6.55	5.48	4.98
運輸	5.43	4.37	2.91	2.14	1.2	0.64
通信	5.52	5.48	5.39	5.1	4.47	4.94
娯楽・文化	5.23	5.49	4.59	3.82	4.58	5.34
教育	7.92	8.11	7.67	7.39	7.14	7.04
レストラン・ホテル	6.56	6.68	6.97	7.01	7.22	6.97
保険・金融サービス	8.11	7.72	7.04	6.57	5.83	5.31
化粧品・医薬部外品等	4.12	4.53	4.11	4.63	4.68	4.48

出所：国家統計院 (INE)

貿易統計

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
輸出 (*)	額 (百万ドル)	733	821	832	860	852	859
	前年同月比 (%)	10	2	11	22	8.8	21
	1 月からの累計 (百万ドル)	2,690	3,505	4,340	5,201	6,056	6,914
	前年同期比 (%)	10	8	8	10	10.4	12
輸出 (**)	額 (百万ドル)	1,033	1,169	1,325	1,175	1,327	1,242
	前年同月比 (%)	4	1	4	7	3.5	5
	1 月からの累計 (百万ドル)	3,920	5,119	6,451	7,688	9,000	10,245
	前年同期比 (%)	4	4	4	5	5.4	5

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
輸入 (***)	額 (百万ドル)	1,055	1,072	1,011	1,165	912	1,112
	前年同月比 (%)	16	23	31	27	-4	19
	1 月からの累計 (百万ドル)	3,897	4,717	5,691	6,589	7,436	8,464
	前年同期比 (%)	18.8	13.5	15.5	12.8	9.4	9.5

出所：貿易投資促進庁 (Uruguay XXI)

※毎月の輸出額及び同累計額は暫定値。(*) フリーゾーンからの輸出は除外。(**) フリーゾーンの輸出を含む。(***) 石油及び派製品を含まない。

製造業指数 (%)

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
全体	5.3	8.7	7.4	6.9	6.4	4.7
食品	3.5	4.2	2.8	1.1	1.7	0.8
飲料	-1.2	7.4	4.7	8.6	7.7	6.8
繊維製品	6.0	4.9	7.7	3.0	3.7	-0.1
衣服	7.2	0.0	-2.0	-4.8	-5.6	-4.7
皮等	17.4	-9.5	-15.7	-17.9	-19.4	-20.2
木材及び関連品	-3.3	-12.9	-9.9	-8.3	-6.6	-6.1
紙等	6.4	8.0	8.2	9.3	7.4	6.2
製本	7.0	5.0	4.8	6.4	5.5	4.6
石油派製品等	104.9	2,678.6	575.9	316.7	225.4	146.8
化学品	4.3	-1.6	0.5	0.0	0.3	0.5
医薬品	11.7	-9.3	-9.6	-5.3	-5.5	-4.0
皮・プラスチック製品	-5.0	-7.1	-5.6	-5.9	-5.9	-6.0
金属鉱物	2.9	13.1	11.2	10.3	8.6	5.5
礎金属	-0.8	21.7	17.6	14.8	13.9	12.8
金属製品 (機械を除く)	-7.1	-7.8	-6.7	-7.0	5.7	3.2

電子・情報・光学製品	40.7	21.5	16.3	25.5	26.4	23.1
電子機器	-8.1	-5.6	-7.5	-4.5	-3.8	-0.9
機械・設備	-8.3	27.4	26.0	12.6	8.4	1.8
自動車等	-15.3	-3.6	7.5	19.7	16.3	8.6
家具等	6.1	-4.0	-3.3	-5.2	-5.5	-6.8
その他製造業	5.0	2.7	1.6	4.2	3.6	2.6
機械設備修理	-9.9	-11.2	-8.6	-7.0	-8.3	-8.8

出所：国家統計院（INE）※9月分は未発表。

4 要人往来

（１）往訪

- ・ 1日：シビラ社会開発大臣のブラジル訪問（社会開発地域会合）
- ・ 2日：フラッティ農牧水産大臣のブラジル訪問（国際展示会）
- ・ 8日～12日：メノニ観光大臣のドイツ訪問（クルーズ船関連観光博）
- ・ 12日～23日：ラソ国防大臣の中国訪問（中国ラテンアメリカ国防ハイレベルフォーラム）
- ・ 16日：ルベッキン外務大臣のブラジル訪問（メルコスール外相会合）
- ・ 9月22日～27日、オルシ大統領、ルベッキン外務大臣、オドネ経済財務大臣、オルトゥニョ環境大臣、ルステンベルグ保健大臣、クラビホ国際協力庁（AUCI）長官の米国訪問（国連総会）
- ・ 27日～30日：メノニ観光大臣のアルゼンチン訪問（ラテンアメリカ観光博）
- ・ 30日：フラッティ農牧水産大臣のアルゼンチン訪問（南米南部農牧水産理事会）
- ・ 30日：カスティージョ労働社会保障大臣のドミニカ共和国訪問（ILO地域会合）
- ・ 30日～10月3日：カルドナ工業エネルギー鉱業大臣のチリ訪問（ラテンアメリカ・エネルギー機構会合）

（２）来訪

- ・ 2日：Ould Salek サハラ・アラブ民主共和国（当館注：日本未承認国）外務大臣

（了）